

2-(1) 岐阜イーストライジング 24 及び歩行者用デッキの竣工について

1. 多世代が集う新拠点「岐阜イーストライジング 24」がついに完成

◆施設の特長

- 24階建て、高さ95m、延べ面積約23,800㎡の超高層複合再開発ビル
- ビル名は公募2,241件から選ばれ、その思いは「東にそびえ、益々発展していく」
- 福祉施設（社会福祉法人サンライフが運営）を主体とした新時代の開発モデル



22～24階 分譲住宅（12戸）

- 市内唯一の「東のまち」からの雄大な眺め
大変な人気で、抽選倍率2.2倍で完売

16～21階 賃貸住宅（サ高住36戸、一般賃貸58戸）

- 若者から高齢者まで、多世代のまちなか居住
バリアフリーや安否確認など、高齢者をサポート

3～15階 福祉施設（介護付有料老人ホーム100床、特別養護老人ホーム100床、ショートステイ18床など）

- 住み慣れた街で安心して住み続けられる
駅直結の好立地、家族や知人との交流も容易
公共交通の利便性が非常に高い快適な都心ライフ

1～2階 商業施設

- 2階は歩行者用デッキでJR岐阜駅と直結
ビル2階に自由通路を整備、街区の往来が可能
「歩行者の回遊性向上」と「にぎわい創出」

2. 歩行者用デッキ（岐阜駅東地区）が開通

◆整備概要

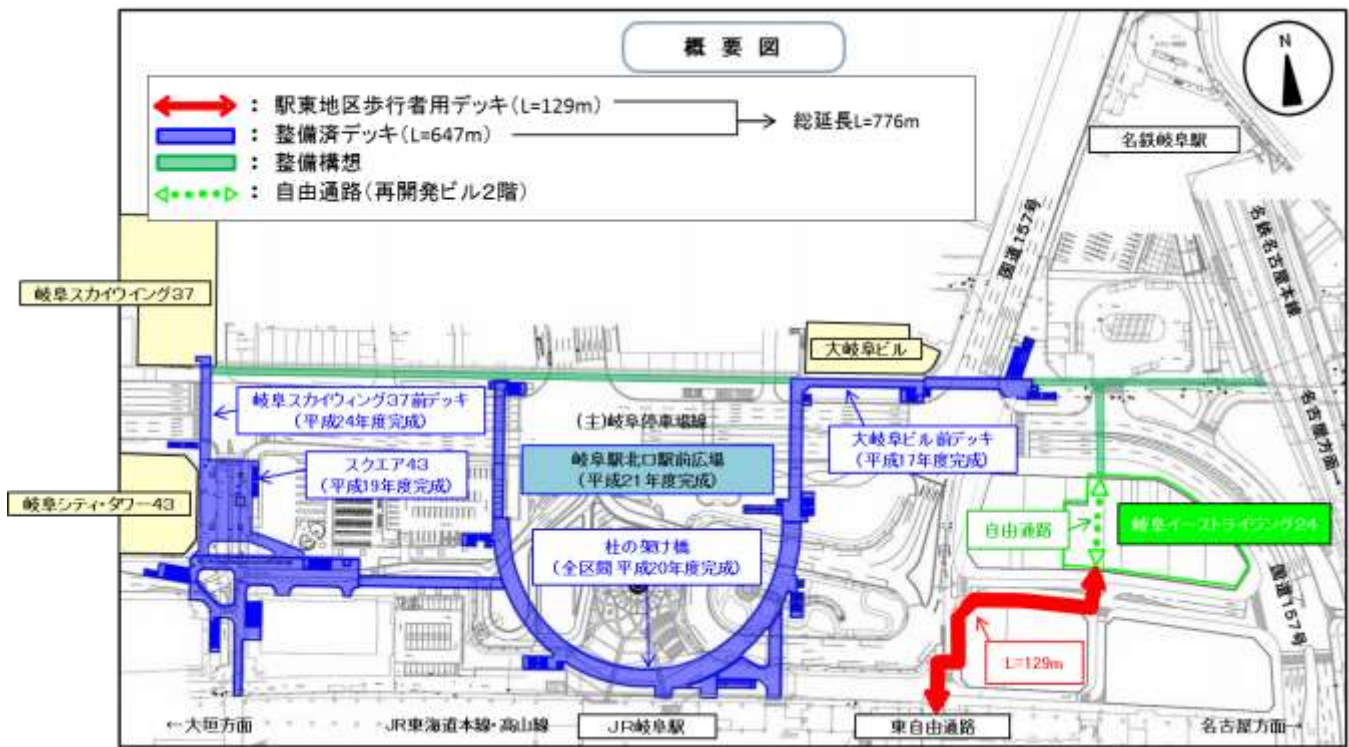
- ・延長：129m ・幅員：4m
- ・附属施設：シェルター401㎡、エレベータ2基、階段1箇所、サイン（音声案内誘導）
- ・詳細設計：平成26年度 ・施行期間：平成27～30年度

○ユニバーサルデザインへの配慮

- シェルターにより、雨天時も快適に回遊できる
- サインや点字ブロックを備え、障がい者にも安心・安全な移動が可能

○岐阜駅周辺の賑わいを増幅 回遊性が向上

- JR岐阜駅と周辺街区を結ぶ「杜の架け橋」など、
これまでの整備延長647mとあわせ、総延長776mとなる
- さらに、このビルには北側に抜ける自由通路が設置、
名鉄岐阜駅方面への動線の確保が可能



◆竣工式 (日時：平成31年2月9日(土) 10:30～)

主催：岐阜駅東地区市街地再開発組合 共催：岐阜市

《竣工式の主な内容》

- ・ハートフルスクエアGの2階大研修室で式典(主催共催挨拶、来賓挨拶等)
- ・会場を移し歩行者用デッキの渡り初め
- ・再開発ビルでテープカット等のセレモニー、再開発ビル内で立食による記念パーティー
- ・国会議員、県議員、市議員、県、国土交通省、事業関係者等 計120名程度